

# 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法

適応症：がん，肉腫，造血器腫瘍

1. 事前検査：HLA-DNAタイピング，腫瘍マーカー，感染症検査等
2. 病理免疫染色（病理診断）：  
WT-1, MUC1(EMA), HLA-ABC, HLA-DR, TAP1
3. 腫瘍抗原：  
3.1 腫瘍細胞溶解液（ライセート）用の凍結癌組織の有無  
3.2 人工抗原の適合性：  
抗原ペプチド：WT-1 クラス I / II
4. アフエーシス（成分採血）：処理量4,000ml；  
単核球採取 160～170ml
5. GM-CSF+IL-4添加未熟樹状細胞の作製
6. ライセートの調製
7. 未熟樹状細胞とライセートまたは人工抗原と共培養，OK-432添加による成熟樹状細胞の作製
8. 品質検査：無菌試験，エンドキシン，マイコプラズマ否定試験，FACS解析
9. 1コース（7回）樹状細胞ワクチン：2週毎  
1～4 × 10<sup>7</sup>細胞/回 + OK-432（1～2KE）皮内接種

